



## TOP MESSAGE

## 完全独立系 ソフトウェア会社としての メリットを活かし、 さらなる企業価値の 向上に努めます。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに、第49期第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)の業績をご報告申し上げます。

国内IT市場におきましては、売上高前年比が2018年は1.5%増、2019年には4.0%増と、プラス傾向で伸長してきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、2020年8月は前年同月比で3.5%減とマイナスに転じました。また、5月下旬の緊急事態宣言解除以降も収束の見通しが立たず、先行きは極めて不透明な状況にあります。

このような状況下において、当社グループでは営業・販売活動のオンライン化を推進し、受注案件の安定的確保に注力した他、テレワークの導入により稼働率の維持に努めました。

各セグメント別の業績につきましては、ソフトウェア事業(受注ソフトウェアの個別受託開発)では、金融・保険・証券業向け案件が前年を上回ったものの、サービス・流通業、製造業及び通信業向け案件等がそれぞれ減収となり、売上高55億43百万円(前年同期比4.2%減)、営業損失1億92百万円(前年同期は営業損失89百万円)となりました。

GAKUEN事業(学校業務改革パッケージの開発・販売及び関連サービス)につきましては、大学向けPP(プログラム・プロダクト)販売が前年を上回りましたが、仕入販売及び導入支援サービス等がそれぞれ減収となり、売上高12億66百万円(前年同期比5.3%減)、営業利益1億74百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

システム販売事業(IT機器の販売及び情報通信インフラの構築)につきましては、大学及び公共機関向け案件の減収により、売上高6億98百万円(前年同期比29.8%減)、営業利益68百万円(前年同期比37.5%減)となりました。

医療ビッグデータ事業(医療情報データの点検、分析及び関連サービス)につきましては、保険者向けの支援サービスなどが前年を上回り、売上高は堅調に推移しましたが、研究開発費等のコスト増により、売上高5億34百万円(前年同期比8.4%増)、営業損失36百万円(前年同期は営業損失23百万円)となりました。

これらの結果、当社グループの業績は売上高80億42百万円(前年同期比6.6%減)、営業利益23百万円

(前年同期比87.9%減)、経常利益58百万円(前年同期比70.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は、連結子会社であるAG NET PTE. LTD.に係るのれん等の減損損失を3億13百万円計上したことにより3億9百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失5億52百万円)となりました。

今後も完全独立系ソフトウェア会社ならではの立場で顧客企業の課題へのソリューションをご提供する「変わらぬ信念」と、時代や周囲の環境に応じて敏感に「変わる経営」を信条とし、さらなる成長に向け邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

平林 武昭



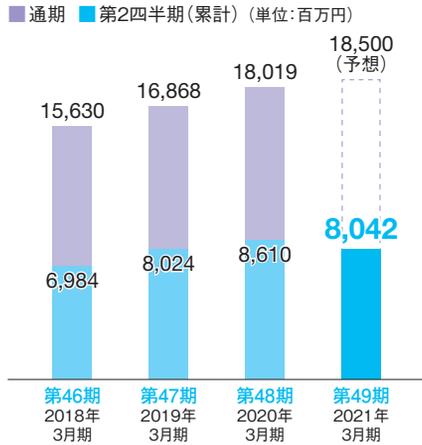
## 連結財務ハイライト

### 決算 POINT

営業・販売活動のオンライン化等による受注案件の安定的確保や従業員のテレワーク実施による稼働率の維持等を実施したものの、減収・減益の結果となりました。

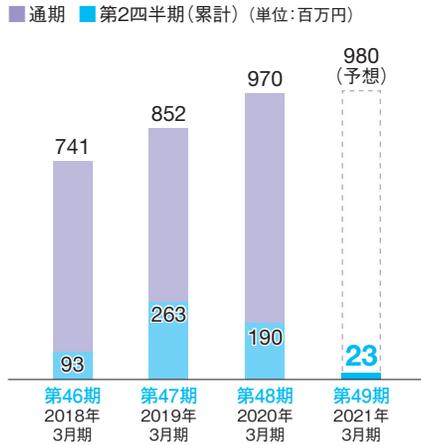
#### 売上高

8,042百万円 [前年同期比] 6.6%



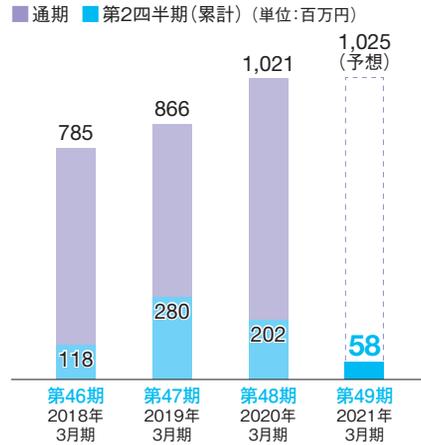
#### 営業利益

23百万円 [前年同期比] 87.9%



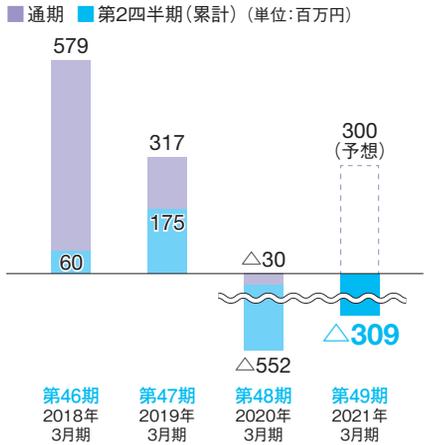
#### 経常利益

58百万円 [前年同期比] 70.9%



#### 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

△309百万円



## TOPICS | 「GAKUEN サブスクリプション」の販売を開始

学内の事務データ及び教育データをクラウド上で一元管理できる「GAKUEN サブスクリプション」の販売を、2020年9月1日より開始しました。本サービスは、GAKUEN事業の主力製品である戦略的大学経営システムにおいて、学生数1,000名以下の小規模大学をターゲットとした新サービス

です。18歳人口の減少に伴い、地方を中心に経営難に直面する小規模大学が増加する中、各大学では教育や組織、運営の改善・改革に積極的に取り組まれています。これらの取り組みを支える基盤として、ICT環境の整備は今や必須の条件となりますが、財政的に高額な投資が難しい場合もあり

ます。そこで、初期費用の大幅な抑制になる「サブスクリプション」型の料金体系にすることで、システム導入のハードルを下げることができます。また、システム運用管理や機能の最新化も当社が行うことで、システム運用にかかわる人件費を削減し、最新の機能やサービスを提供します。

### 会社概要

(2020年9月30日現在)

社名	日本システム技術株式会社 Japan System Techniques Co., Ltd. (略称JAST)
本社	〒530-0005 大阪市北区中之島二丁目3番18号 中之島フェスティバルタワー29階
設立	1973年3月26日
資本金	10億7,666万円
従業員数	845名

### 役員

(2020年9月30日現在)

代表取締役社長	平林 武昭
常務取締役執行役員	大門 紀章
常務取締役執行役員	伴 浩明
取締役執行役員	土屋 祐二
取締役執行役員	六車 千春
取締役執行役員	山田 賢二
取締役(社外取締役)	細江 浩
取締役(社外取締役)	花井 貢
監査役	園田 勝朗
監査役(社外監査役)	妙中 茂樹
監査役(社外監査役)	最上 次郎

### 株式の状況

(2020年9月30日現在)

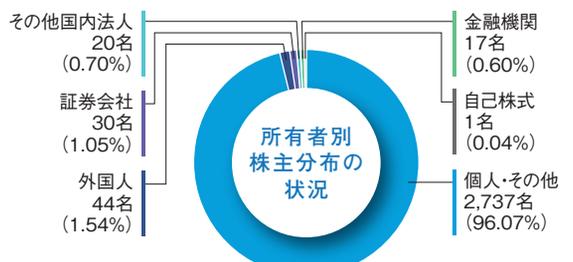
発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	5,612,230株 (注)自己株式202,523株を含んでおります。
株主数	2,849名

### 大株主

(2020年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ジャスト	1,450,100	26.81
日本システム技術従業員持株会	625,640	11.57
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 1300000	275,900	5.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	156,500	2.89
平林 卓	139,320	2.58
平林 武昭	95,500	1.77
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	86,000	1.59
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140040	68,200	1.26
株式会社日本カストディ銀行(証券投資信託口)	64,500	1.19
株式会社日本カストディ銀行(信託口5)	64,500	1.19

(注1)上記のほか、自己株式を202,523株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、当社は株式給付信託(BBT)を導入しており、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式47,800株は上記自己株式に含めておりません。  
(注2)持株比率は自己株式を控除して計算しております。



### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	定時株主総会 毎年3月31日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
期末配当	毎年3月31日
中間配当	毎年9月30日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) (住所変更、単元未満株式の買取等については株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。)

### 公告方法

電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。なお、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

### ホームページ

https://www.jast.jp/ (日本語)  
https://www.jast.jp/en/ (英語)

### 証券コード

4323